

肝臓病教室

～自分らしく生きる～

患者会ってなんだろう

私のこと

- ステージ4の乳がん患者 余命は短い？
- 治療への迷い

手術 & 抗がん剤か、静かにその時を待つか

- 手術して抗がん剤を選択
- しかし、私には時間がない
- 身の整理
- 休薬してハワイへ・生きているを実感
- 死ぬ時まで生きると決める

自分らしく生きるために

- ・私は生来元気印

がんと言われて自分を失っただけ。

余命は短いかもしれない、でもまだ生きている。自分を取り戻そう。

- ・今の自分を受け入れる。この身体で何ができるか。弱っている人間が一人で闘うのは大変、だが、仲間がいれば闘える。

患者会を立ち上げる

- 残り少ない命を生き切るために。
- 第一外科外来で主治医の許可をもらい、患者同士の小さな集いを持つ。
- 小さくても人が集まればいろいろな問題がでてくる。
- 2年後、2006年4月、会則の整備されたがん患者サポートの会を正式に発足させる。

患者会とは

- 患者会の役割

- 1・病気を科学的にとらえること。
- 2・病気と闘う気概を持つこと。
- 3・病気を克服する条件をつくりだすこと。

この3点は現代医療の課題でもある。

日本福祉大学児島美都子

病気を科学的にとらえる (病気を正しく知る)

1・病気の性質を理解する

2・自分の体をよく知る。

自分の病気をよく知り、治療の方向を確かめて、医師の協力を得て治していくという考え方が必要。治療に自分も参画させる。

病気と闘う気概を持つ 病気に負けないように

- ・ ‘病気に立ち向かう’ という勇気
- ・ ‘病気と一緒に生活していこう’ という広い心

を持つことが必要。そうでなければ病気に負けてしまう。

気負わず・がんと共に生きる・だらだら治療

病気を克服する条件をつくりだす

- 本当の福祉社会をつくるために
自分の痛みと他人の痛み
- 自分が痛んではじめて医療の有り難さを知る

私達は私達の経験を土台として、二度と同じ苦しみを味わう人が出ないように願って活動しなければならない。それが患者の果たす社会的役割。

自分が必要とされる。免疫力UPの効果も











1
検査室





極めつけです



御静聴ありがとうございました。

